



柏市役所 市民活動支援課

令和5年度 柏市町会長等会議 報告書

令和5年度 柏市町会長等会議を開催

▶会議について

実施日

令和5年6月17日（土）

場所

アミュゼ柏 クリスタルホール

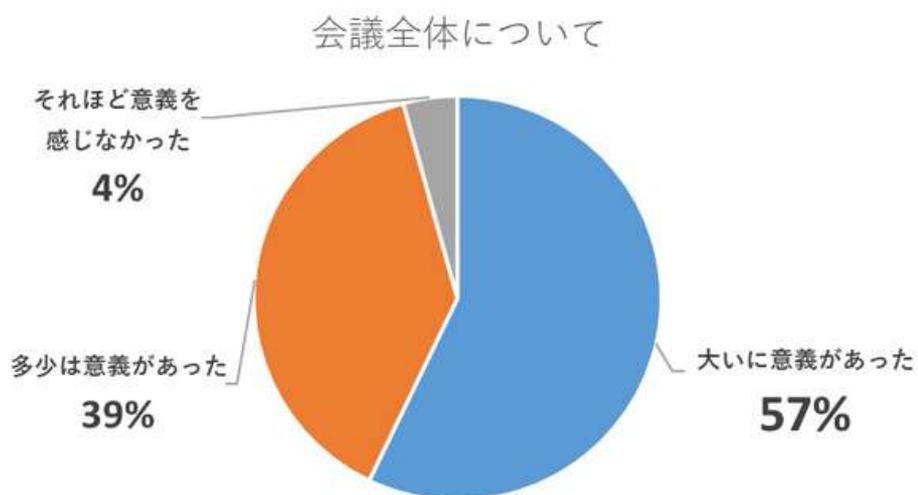
参加者数

会場 109名

オンライン 19名

ふるさと協議会会長及び町会・自治会・区長等

▶会議開催後のアンケート回答報告



回答件数 70件

KASHIWA
CITY

開会

柏市長 太田和美より

柏市の地域を牽引くださる皆様への御礼と御挨拶を
させていただきました。



各課からのお知らせ

市民活動支援課

「市民活動支援課からのお知らせ」

市民活動支援課は、会長の皆様にとって市役所の最初の窓口となる部署です。

当課には、市民活動支援課職員だけでなく市役所と地域を結ぶ役割を持った
地域コーディネーターがおり、市民協働支援員を筆頭に地域へお邪魔しております。

また、私達の心強いパートナーとして、地域をよく知る市民の方々が自ら学びなが
ら活動している中間支援団体「柏市地域協働を考える会」がおります。

地域の様々な課題に対して、一緒に悩みながら支援して参りますので、今後とも宜
しくお願いいたします。

市民活動支援課の制度について ～お知らせ～

①行政連絡便：コロナ禍により回覧資料の発送を中止しておりましたが、7月より再
開いたします。

②防犯灯：電気代高騰に鑑み、補助金額や補助内容を見直しました。

③加入促進：チラシのリニューアル、加入促進ハンドブック等を作成しました。

※市民活動支援課の補助金等制度の概要や市への年間行事、講座情報については、
令和5年度柏市町会長等会議資料P3～を御参照ください。

アフターコロナに向けた 町会活動



市民活動支援課長 吉田

交通政策課

買い物支援タクシー「とねっこタクシー」について

柏市内に点在する公共交通空白不便地域への対応

柏市内には、公共交通機関が無い又は使いにくい地域が点在していることから、令和2年度から令和3年度にかけて、該当する各町会に対して日常の買物や通院といった移動需要のアンケート調査を実施しました。

買い物支援タクシー「とねっこタクシー」について

利根町会は近くのスーパーが閉店して買い物が不便になり、市と町会、タクシー会社で協議し、タクシーに相乗りして買物するツアー形式で令和3年10月から実証実験を行っています。

※概要 令和5年度柏市町会長等会議資料P12スライド3を御参照ください。

運営主体は町会が担っており、市は運行計画の策定やタクシー会社との調整といった技術面と運行経費の不足分に対する資金面でサポートをしています。

買物支援タクシーの導入は、公共交通のない地域が対象となり、既存のバス路線と競合しない等いくつかの条件がありますが、地域で交通課題を抱えているまたは実証実験に興味のある町会様は交通政策課までご相談いただければ一緒に進めていきたいと考えております。

また、東部地域や南部地域については、下記のとおりコミュニティ交通が運行中ですので、御活用していただきたいです。

- ・東部地域 「カシワニクル」（予約型相乗りタクシー）
- ・南部地域 「かしわ乗合ジャンボタクシー」（コミュニティバス）



各課からのお知らせ

交通政策課長 坂齊

廃棄物政策課

「柏・沼南地域の指定ごみ袋の統一について」

ごみの分別名称及び指定ごみ袋の統一について

平成17年に柏市と沼南町が合併してから18年経ちましたが、現在もごみの分別やルールが統一されておらずご不便をお掛けし申し訳ございません。

今後、ごみに関する制度の統一を目指していきます。

まずは、ごみの分別名称と指定ごみ袋の2点を令和6年4月1日に統一することから始めていきます。

【主な変更点】

- ・ごみの分別名称を柏地域に統一します。
- ・指定ごみ袋の色を柏地域に統一しますが、柏地域及び沼南地域それぞれの形状と素材は変えずに引き続き販売するため、使用できる指定ごみ袋は、可燃ごみ及び容器包装プラスチック類それぞれ2種類に増えることとなります。
- ・販売枚数を10枚セット・50枚セットとします。
- ・令和6年4月1日以降も変更前のごみ袋を使用可（おおむね1年間）とします。（※資料については、令和5年度柏市町会長等会議資料P13及びごみ袋の案内チラシを御参照ください。）

「ごみの分別名称」と「指定ごみ袋」の統一について（令和6年4月1日から予定）

❗ 「ごみの分別名称」は、柏地域の名称に統一します。

❗ 「指定ごみ袋」は、袋の色を柏地域のものに統一します。

今後、広報かしわや市のホームページ等で市民の皆さんにお知らせしていきます。

※ 沼南地域にお住まいの皆様には、戸別ポストイングによるお知らせ文の配布を予定しています。

項目	柏地域	沼南地域	統一後	
主なごみの分別名称	「可燃ごみ」	「燃やすごみ」	「可燃ごみ」	
	「不燃ごみ」	「燃やさないごみ」	「不燃ごみ」	
	「容器包装プラスチック類」	「プラスチック系ごみ」 (容器包装プラスチック類)	「容器包装プラスチック類」	
	「資源品」	「資源ごみ」	「資源品」	
	「粗大ごみ」	「粗大ごみ」	「粗大ごみ」	
指定ごみ袋	色	可燃ごみ：ピンク 容プラ類：黄	燃やすごみ：白 プラ系ごみ：ピンク	可燃ごみ：ピンク 容プラ類：黄
	形状	①マチ・持ち手あり	②マチ・持ち手なし	①マチ・持ち手あり ②マチ・持ち手なし
	素材	①低密度ポリエチレン製 (やわらかく伸びやすい)	②高密度ポリエチレン製 (かたく伸びにくい)	①低密度ポリエチレン製 ②高密度ポリエチレン製
	販売	10枚セット販売	20枚セット販売	10枚セット販売 50枚セット販売



各課からのお知らせ

廃棄物政策課

棚田 担当リーダー

住宅政策課

「空家への取組について」

令和4年に特定空家の実態調査を行ったところ全体で1,739件あり、5年前の同様の調査から約100件余り増加しています。確認した空家のうち特定空家の候補となる372件を中心に順次所有者に対して助言指導等といった働きかけを行っています。

また、空家に対する相談等も年間300件以上寄せられています。情報のあった空家については、職員が現地確認をして状態を確認しつつ、同様に所有者に対して助言指導等を行っています。

空家を調査した際に、所有者が放棄していなくなっている物件があった場合は、民法の規定による相続財産清算人の申立手続きを活用して所有者のいない空家解消に取り組んでいます。

空家所有者向けの支援として、司法書士、建築士、宅地建物取引士などの専門家の協力のもと、無料相談を随時実施しています。また、職員が出張して出前講座も実施しております。

空家に起因する諸問題は基本的には所有者の責任において解決すべきものと捉えておりますが、地域のコミュニティにおいて接する機会の多い問題でもあるため、日頃のご近所付き合いのなかで、引っ越しや長期入院されることが分かれば、可能であればあらかじめ連絡先等を伺っていただきその後の対応に繋がるようにしていただければと思います。

各課からのお知らせ



住宅政策課
石津 担当リーダー

パネルディスカッション

アフターコロナに向けた町会活動

登壇者

【パネラー】

(光ヶ丘地域)

東山町会 柏原 会長

(田中地域)

新若柴町会 坂上 会長

(豊四季台地域)

西町町会 向井 会長

【ファシリテーター】

柏市地域協働を考える会

深津 氏



市民活動支援課長 吉田 敬



本年度、新たに企画したパネルディスカッション。

町会長等会議のテーマである「アフターコロナに向けた町会活動」を主軸に、登壇者と対話形式で討論を展開しました。内容は、「令和4年度新年度に向けたアンケート」結果から、担い手不足・ICTの推進・令和4年度のイベント等の活動について、各町会の取組みをお話いただきました。また、会場からは、利根町会、泉町町会そして中原町会の会長様からも素晴らしい取組みを御紹介いただきました。

冒頭では、深津氏よりコロナ禍前と同じような活動の実施を希望する方の挙手等を求めたところ、御参加された約7割が希望するとのことになりました。

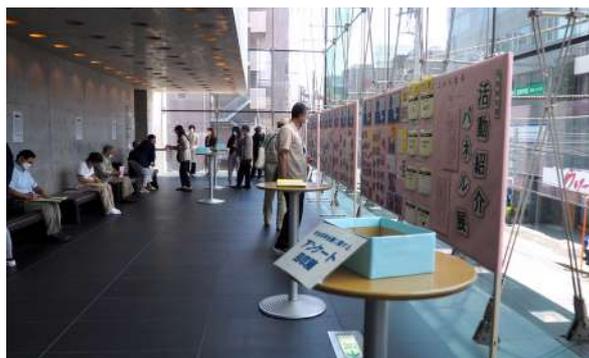


令和4年度活動紹介パネル展

クリスタルホール会場ロビー（ホワイエ）にて、令和4年度活動紹介パネル展を実施しました。
コロナの感染拡大が止まらなかった令和4年度。

新年度に向けたアンケート結果からは、感染対策を徹底し、令和4年度にイベントを実施された町会は約4割を占めました。

その中で、柏市の北部・中央・南部・沼南の4エリアから町会等を選定し、イベントのお写真を提供いただき紹介しました。



北部地域

- ▶ 寺山町会
八坂神社祭禮
- ▶ 松葉三丁目町会
子ども会夏祭り
ハロウィン秋の集い
- ▶ 松葉町一丁目第一町会
健康麻雀
地域清掃
通いの場
- ▶ 梅林町会
秋まつり等

中央地域

- ▶ 豊上町会
ハロウィンイベント
グラウンドゴルフ大会
- ▶ 柏ハイム自治会
花摘みの会
健康ウォーキング

南部地域

- ▶ 中原町会
なぞときウォーキング
餅つき
- ▶ 南増尾町会
キッズランド
- ▶ 小新山町会
サツマイモイベント

沼南地域

- ▶ 大津ヶ丘第一住宅管理組合
こいのぼり掲揚
屋外大正琴発表会
パターゴルフ 等
- ▶ 高柳区
高柳祭
- ▶ しいの木台区
秋祭り



